

第二六二回松山市観光俳句ポスト

第二六二回開函

「柿」主宰 高石 幸平 選

特選三句

初秋の伊予の風生む天守かな

群馬県高崎市 金井 よし子

ボーイ来て蚊遣つけゆく道後の夜

香川県小豆郡 清水 星凜

親燕飛び交ふ下の足湯かな

東京都調布市 田村 三喜子

入選二十句

湯の街の坂を登れば鯛雲

愛媛県四国中央市 安藤 通蓀

夏の月俳句ポストを照らしをり

静岡県浜松市 池上 房子

松山の涼風駆ける天守閣

茨城県つくば市 稲葉 秀子

訪ね来し子規堂あたり秋の風

熊本県熊本市 岩城 奈々子

青蜜柑サイクリストは濡れ鼠

千葉県船橋市 遠藤 良一

子規堂の古りし机や小鳥来る

愛媛県四国中央市 河端 真澄

動くものただ一人なり秋遍路

神奈川県横浜市 小林 福三郎

文学の街や市電に秋の雨

兵庫県加古川市 小山 美智子

百頭の吐く息白き牛舎かな

愛媛県西宇和郡 佐々木 サチ子

砥部焼の皿をはみ出す焼秋刀魚

福岡県北九州市 佐々木 弘美

ほほなでる風のおいは夏みかん

岡山県岡山市 園部 裕大

湯の客に百日紅を散らす風

大分県大分市 淵野 陽鳥

子規の絵の並ぶ子規堂涼新た

埼玉県越谷市 屋内 修一

闇に出て闇に消えゆく大花火

愛媛県西条市 山本 サユミ

校門の少し開いてる夏休

京都府京都市 米林 修平

(市内)

秋風にゆのか流れる子規のまち

愛媛県松山市 大森 さだむ

脱ぎて振るしぼし別れの夏帽子

愛媛県松山市 谷 美枝子

風と来て風と去りたる秋遍路

愛媛県松山市 西山 たかし

(十五歳以下)

ごご島へゆられゆられる秋の海

愛媛県西宇和郡 大橋 周平

見下ろせば涼しくなるよ天守閣

神奈川県鎌倉市 香川 桃子

投句総数 一二三〇

市外 一〇一一

市内 二一九

投句者総数 七二七

市外 六三八

市内 八九

開函日 平成二十五年九月三十日